

## リニア活用・企画振興課



県民対話集会



元気づくり支援金優良事例表彰式



伊那谷自治体会議



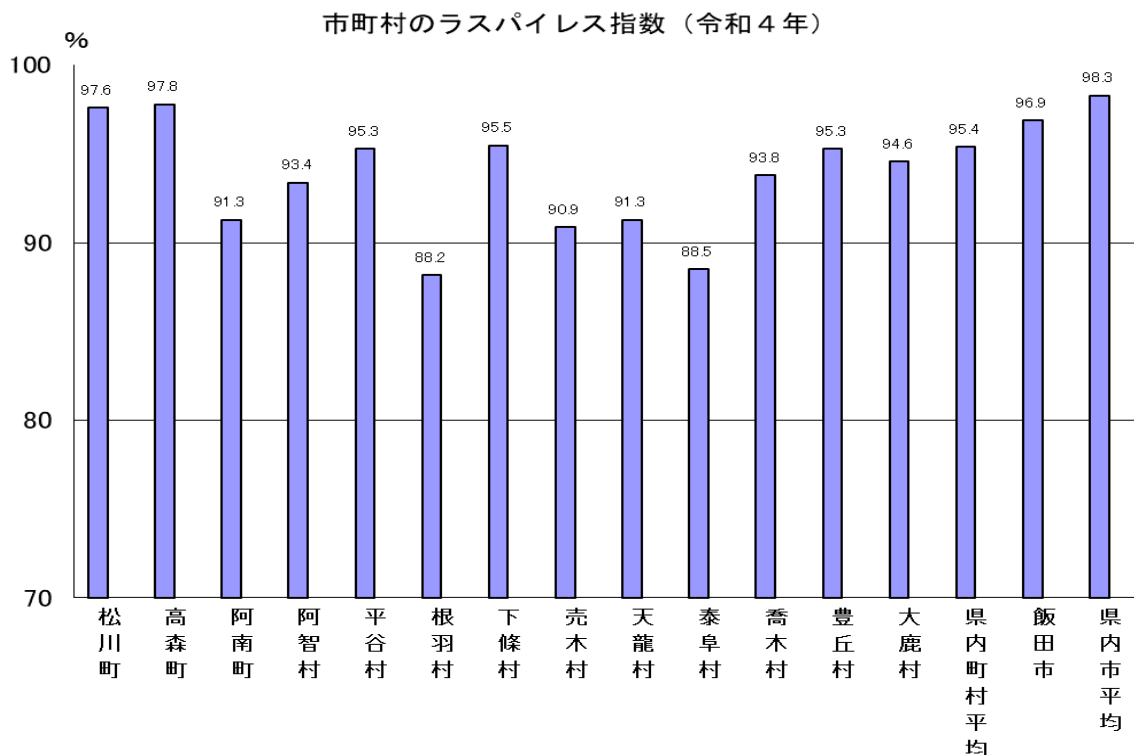
第1回南信州民俗芸能フェスティバル  
～風流踊ユネスコ無形文化遺産登録記念大会～

## 市町村の行財政等

### 1 行政

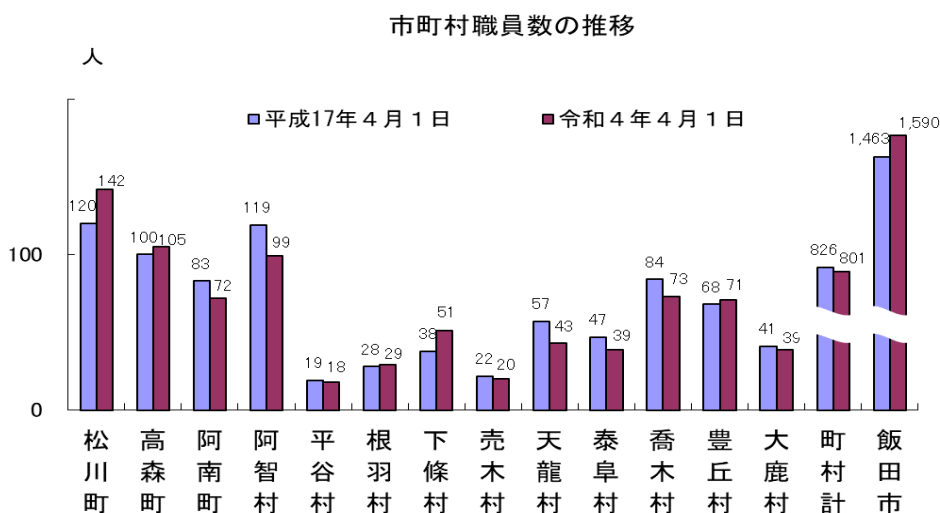
#### ① ラスパイレス指数

令和4年の管内市町村の給料水準を示すラスパイレス指数\*は、管内全市町村で100を下回っています。



※ラスパイレス指数：地方公共団体と国家公務員の職員の給料額を、学歴別、経験年数別に対比させて比較し算出したもので、国を100としたときの給料水準を数値化したもの。

#### ② 職員数



## 2 財政

令和3年度決算において、管内市町村の財政力指数は平均で0.25と県平均0.39を下回っているものの、経常収支比率は平均72.9%と県平均82.9%に比べて低い水準となっている。

また、実質公債費比率は7市町村において県平均の6.1%を上回っている。

### 市町村の財政状況（令和3年度普通会計）

（単位：千円、％）

市町村名	財政状況				財政指数			
	歳入総額	歳出総額	形式収支	実質収支	財政力指数	実質収支比率	実質公債費比率	経常収支比率
飯田市	54,198,650	52,809,337	1,389,313	950,718	0.54	3.3	7.5	86.3
松川町	8,513,254	7,713,274	799,980	434,740	0.39	9.5	4.8	80.2
高森町	8,336,917	7,543,297	793,620	764,909	0.41	17.7	7.2	81.0
阿南町	5,635,558	5,316,277	319,281	96,085	0.19	3.3	3.8	71.0
阿智村	6,245,501	5,792,101	453,400	279,618	0.24	7.5	0.1	75.7
平谷村	1,127,393	996,953	130,440	102,450	0.16	15.5	1.8	69.8
根羽村	2,509,245	2,337,329	171,916	153,372	0.11	12.3	7.1	71.9
下條村	3,635,390	3,117,284	518,106	448,025	0.24	23.6	△ 4.6	61.0
売木村	1,325,665	1,277,842	47,823	28,805	0.12	3.8	11.7	77.3
天龍村	3,228,285	3,059,739	168,546	141,922	0.16	9.2	0.1	72.3
泰阜村	2,704,094	2,453,032	251,062	200,532	0.16	13.6	7.1	60.3
喬木村	5,265,777	4,826,463	439,314	228,537	0.25	8.2	7.2	73.2
豊丘村	6,982,376	5,687,161	1,295,215	1,073,455	0.30	36.0	9.6	74.8
大鹿村	2,708,110	2,554,456	153,654	85,396	0.16	5.9	0.8	65.8
郡 計	58,217,565	52,675,208	5,542,357	4,037,846	0.22	12.8	4.4	71.9
管内計	112,416,215	105,484,545	6,931,670	4,988,564	0.25	12.1	4.6	72.9
県市町村計	1,215,331,107	1,158,830,290	56,500,817	43,806,199	0.39	6.8	6.1	82.9

出典：令和3年度 長野県市町村財政概要

（注）財政指数の計は平均値で単純平均

[用語の説明]

#### ○形式収支

歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた歳入歳出差引額。

#### ○実質収支

歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額（形式収支）から、翌年度に繰り越すべき財源を控除した額。

#### ○財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、普通交付税上の基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

#### ○実質収支比率

実質収支の標準財政規模に対する割合。実質収支比率が正数の場合は実質収支の黒字、負数の場合は赤字を示す。

#### ○実質公債費比率

標準財政規模に対する一般会計等が負担する元利償還金・準元利償還金の割合の3ヵ年の平均値。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標。

#### ○経常収支比率

経常一般財源総額（市町村税、地方交付税、臨時財政対策債等）に占める経常経費充当一般財源（人件費、公債費等）の割合を示すものであり、財政構造の弾力性を判断する指標。

### 3 合併と過疎地域

- ・管内は、平成11年3月現在18市町村が存在しましたが、平成17年10月1日に上村、南信濃村が飯田市に、平成18年1月1日に浪合村、平成21年3月31日に清内路村が阿智村に編入され、現在は14市町村となっています。
- ・令和4年4月1日現在、県内では43市町村が過疎地域等（一部過疎含む）に指定されており、そのうち管内では、阿南町、平谷村、根羽村、売木村、天龍村、泰阜村、大鹿村の7町村が過疎地域に、飯田市、阿智村の2市村が一部過疎（飯田市：旧上村・旧南信濃村、阿智村：旧清内路村・旧浪合村）に指定されています。

## 2 財政

令和3年度決算において、管内市町村の財政力指数は平均で0.25と県平均0.39を下回っているものの、経常収支比率は平均72.9%と県平均82.9%に比べて低い水準となっている。

また、実質公債費比率は7市町村において県平均の6.1%を上回っている。

### 市町村の財政状況（令和3年度普通会計）

（単位：千円、%）

市町村名	財政状況				財政指数			
	歳入総額	歳出総額	形式収支	実質収支	財政力指数	実質収支比率	実質公債費比率	経常収支比率
飯田市	54,198,650	52,809,337	1,389,313	950,718	0.54	3.3	7.5	86.3
松川町	8,513,254	7,713,274	799,980	434,740	0.39	9.5	4.8	80.2
高森町	8,336,917	7,543,297	793,620	764,909	0.41	17.7	7.2	81.0
阿南町	5,635,558	5,316,277	319,281	96,085	0.19	3.3	3.8	71.0
阿智村	6,245,501	5,792,101	453,400	279,618	0.24	7.5	0.1	75.7
平谷村	1,127,393	996,953	130,440	102,450	0.16	15.5	1.8	69.8
根羽村	2,509,245	2,337,329	171,916	153,372	0.11	12.3	7.1	71.9
下條村	3,635,390	3,117,284	518,106	448,025	0.24	23.6	△ 4.6	61.0
売木村	1,325,665	1,277,842	47,823	28,805	0.12	3.8	11.7	77.3
天龍村	3,228,285	3,059,739	168,546	141,922	0.16	9.2	0.1	72.3
泰阜村	2,704,094	2,453,032	251,062	200,532	0.16	13.6	7.1	60.3
喬木村	5,265,777	4,826,463	439,314	228,537	0.25	8.2	7.2	73.2
豊丘村	6,982,376	5,687,161	1,295,215	1,073,455	0.30	36.0	9.6	74.8
大鹿村	2,708,110	2,554,456	153,654	85,396	0.16	5.9	0.8	65.8
郡 計	58,217,565	52,675,208	5,542,357	4,037,846	0.22	12.8	4.4	71.9
管内計	112,416,215	105,484,545	6,931,670	4,988,564	0.25	12.1	4.6	72.9
県市町村計	1,215,331,107	1,158,830,290	56,500,817	43,806,199	0.39	6.8	6.1	82.9

出典：令和3年度 長野県市町村財政概要

（注）財政指数の計は平均値で単純平均

[用語の説明]

#### ○形式収支

歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた歳入歳出差引額。

#### ○実質収支

歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額（形式収支）から、翌年度に繰り越すべき財源を控除した額。

#### ○財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、普通交付税上の基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

#### ○実質収支比率

実質収支の標準財政規模に対する割合。実質収支比率が正数の場合は実質収支の黒字、負数の場合は赤字を示す。

#### ○実質公債費比率

標準財政規模に対する一般会計等が負担する元利償還金・準元利償還金の割合の3カ年の平均値。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標。

#### ○経常収支比率

経常一般財源総額（市町村税、地方交付税、臨時財政対策債等）に占める経常経費充当一般財源（人件費、公債費等）の割合を示すものであり、財政構造の弾力性を判断する指標。

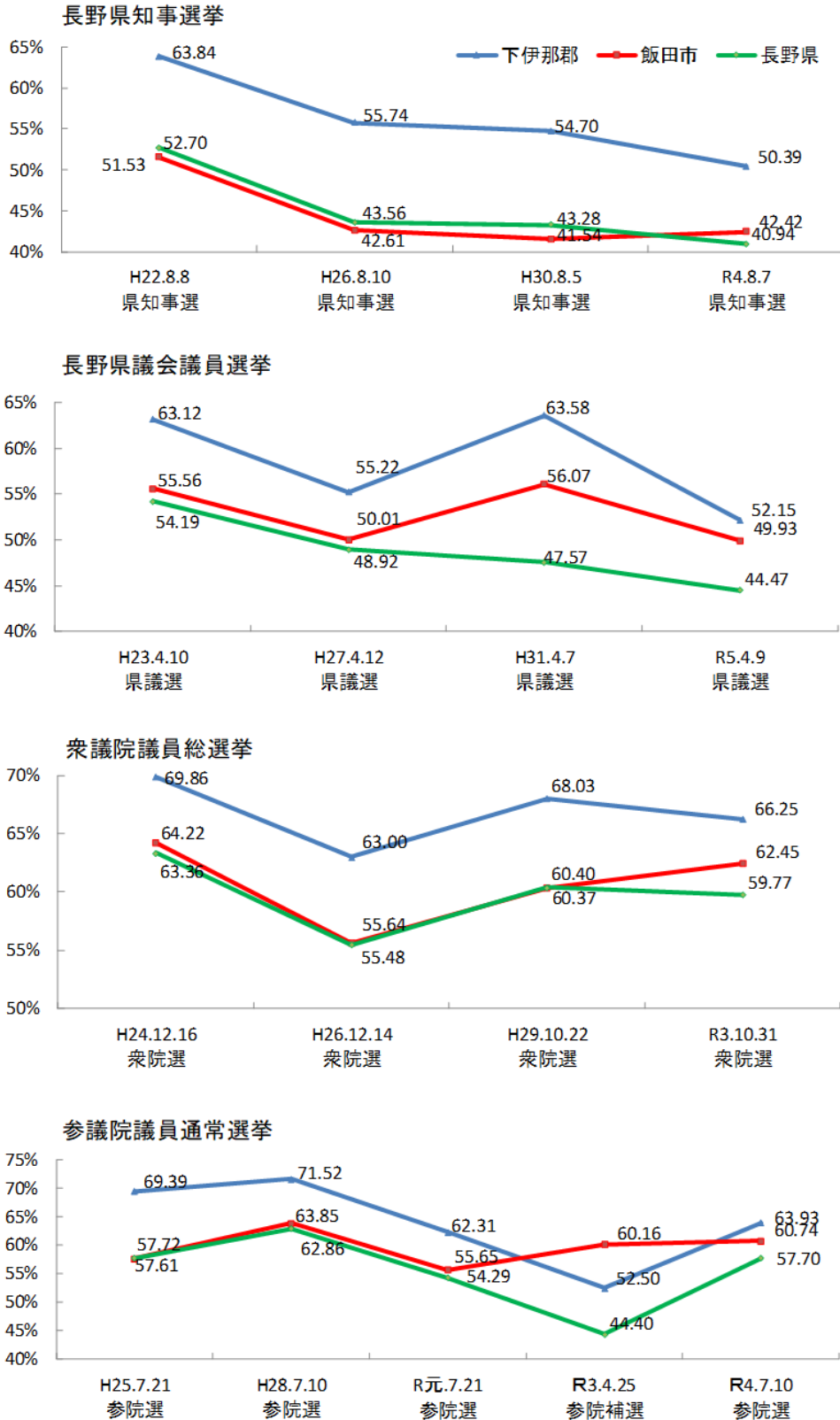
### 3 合併と過疎地域

- ・管内は、平成11年3月現在18市町村が存在しましたが、平成17年10月1日に上村、南信濃村が飯田市に、平成18年1月1日に浪合村、平成21年3月31日に清内路村が阿智村に編入され、現在は14市町村となっています。
- ・令和4年4月1日現在、県内では43市町村が過疎地域等（一部過疎含む）に指定されており、そのうち管内では、阿南町、平谷村、根羽村、売木村、天龍村、泰阜村、大鹿村の7町村が過疎地域に、飯田市、阿智村の2市村が一部過疎（飯田市：旧上村・旧南信濃村、阿智村：旧清内路村・旧浪合村）に指定されています。

4 選挙

直近の長野県知事選挙、長野県議会議員選挙における管内の投票率は、県平均よりは高いものの、前回からは低下しました（参议院議員通常選挙のみ上昇）。

○投票率の推移





## 地域課題の解決に向けた取組状況等

### 1 横断的な課題

南信州地域では、リニア新時代に向けた「高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備」や「伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり」等を横断的な課題としています。

R 5 横断的な課題	R 5 施策の柱（主な事業概要案）
高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備	<b>1 人材や企業を呼び込む「つながり」の創出と地域の魅力発信</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>官民連携による「つながり」創出のための分析と推進体制の検討</li> <li>南信州の認知度向上に向けた県民参加型予算事業の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※日本一コンテンツ普及・開発プロジェクト事業</li> <li>※南信州メディカルバレー構想(仮称)事業</li> </ul> </li> </ul>
	<b>2 高速交通網を活かす道路交通基盤整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リニア長野県駅(仮称)及び三遠南信自動車道アクセス道路の整備</li> </ul>
	<b>3 リニアバレー構想を実現するための取組の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊那谷の強みを活かした重点的な取組の具体化</li> <li>リニアバレー構想戦略的チャレンジの見直し</li> <li>飯田市が設置する検討会議へ参画し、魅力発信やリニア駅を基点とした交通関係を検討</li> </ul>
伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり	<b>1 伝統芸能の保存・継承の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>民俗芸能団体が求める支援とパートナー企業の強みを活かした支援のマッチングの実施</li> <li>ユネスコ無形文化遺産登録を契機に、民俗芸能の魅力や理解を促進するパネル巡回展等を市町村役場や学校等で実施</li> </ul>
	<b>2 ゼロカーボン社会に向けた取組の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>南信州環境メッセ2023やゼロカーボンミーティングin南信州の開催</li> <li>省エネ・再エネ普及拡大に向けたプラットフォームの共同運営等</li> <li>体験型環境学習会やプラスチックスマート推進記念イベントの開催</li> </ul>
	<b>3 小規模町村等との連携</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当職員制の試行導入等による小規模町村支援体制の構築</li> <li>特定地域づくり事業協同組合の設立に向けた支援</li> </ul>
地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興	<b>1 地域の強みを活かした観光コンテンツと受入環境の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山の資源を活用した体験型観光コンテンツの研究</li> <li>矢羽根による路面標示区間の延長等サイクルツーリズムの受入環境整備</li> <li>南信州シードルのブランド化に向けた課題解決の支援</li> </ul>
	<b>2 地域の特性を活かし、皆があこがれる農業の実践</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本なし産地再生プロジェクトにより、早期多収省力栽培技術などの導入推進やモデルミニ団地整備に向けた園地集積・経営モデルの提案</li> <li>企業の農業参入など新たな担い手確保に繋がる耕作条件の改善を支援</li> <li>農福連携セミナーの開催や福祉事業所の農業参画などによる多様な支え手の確保を支援</li> </ul>
	<b>3 地域資源のフル活用を目指した林業・林産業への転換</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>主伐・再造林の普及に向け架線集材の技術者を養成</li> <li>シカ捕獲個体を回収し、ジビエ生産の仕組みづくりに活用</li> <li>放置竹林を整備し、竹を土木資材へ活用するなど資源化を推進</li> </ul>
安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり	<b>1 健康で暮らせる地域づくりと地域医療等の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院と診療所等をつなぐ遠隔診療の体制づくりを支援</li> </ul>
	<b>2 災害に強い基盤整備の推進・地域防災体制の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>水害に強い安全安心な地域づくりにつながる流域治水の推進</li> <li>大震災時における小規模町村の支援体制を強化</li> <li>災害発生の恐れがある危険箇所に関する市町村説明会の開催</li> </ul>



## 2 リニア中央新幹線の開業に向けた地域振興

リニア中央新幹線の整備効果を最大限に活用し、地域発展の原動力とすることで、身近になる大都市や世界の活力を引き寄せ、豊かな自然環境の中で地域も人々も輝く「リニアバレー」を実現するため、「リニアバレー構想」及び「リニアバレー構想実現プラン基本方針」に基づき、様々な主体（市町村、広域連合、民間等）と連携して取組を進めています。

### (1) リニアバレー構想実現プラン基本方針に基づく取組の推進

#### ア 景観形成、共通サイン整備

- ◆ 調和のとれたサインの整備等、伊那谷の景観形成に向けた取組
- ◆ 「南アルプスユネスコエコパークにおける登山道誘導標識のガイドライン」による取組推進
- ◆ 中央アルプスのサイン統一に向けた関係市町村との調整等
- ◆ 伊那谷ビュースポットの発掘

#### イ 広域二次交通の整備

- ◆ 高速バスを主軸とした広域二次交通のルート及びスケジュールを検討
- ◆ MaaS研修会の開催
- ◆ 3圏域（上伊那・南信州・木曾）の広域的な公共交通路線をまとめたマップの作成

#### ウ 将来を担う世代が地域企業を知り、郷就につながるキャリア教育の拡充

- ◆ 「伊那谷deキャリア教育研修会」の開催
- ◆ SNSを活用した情報発信



#### エ 周遊滞在型観光コンテンツづくり・受入環境整備

- ◆ 3地域（上伊那・南信州・木曾）周遊コンテンツ・コースの検討

#### オ グローバル経済圏で活動する企業のサテライトオフィス誘致やフルリモートで勤務する社員の誘致、大都市圏の研究機関や企業の本社機能などの移転促進

- ◆ サテライトオフィス・ワーケーション施設の情報発信
- ◆ 「おためし立地 チャレンジナガノ」による地域と企業とのマッチング

(2) 「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議※」の直近開催状況

開催日	内容
令和5年2月10日 (第17回)	<p><b>【議題】</b></p> <p>(1) 伊那谷の強みを活かした重点的な取組について (2) 企業誘致の今後の進め方について</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1) リニア長野県駅（仮称）の駅前空間の検討状況について (2) リニア長野県駅の広域的な利活用検討の進め方について (3) 戦略的チャレンジの成果・課題・今後の方向性について</p>
令和4年2月18日 (第16回)	<p><b>【議題】</b></p> <p>(1) 社会変化を踏まえた新たな視点（素案）について (2) リニアバレー構想実現プラン基本方針に基づく戦略的チャレンジの方向性と課題について</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1) リニア駅周辺整備の検討状況について (2) リニア開通効果を地域振興に活かすビジョンについて (3) 経済界との連携について</p>
令和3年2月9日 (第15回)	<p><b>【議題】</b></p> <p>J R 飯田線乗換新駅について</p> <p><b>【報告事項】</b></p> <p>(1) リニアバレー構想実現プラン基本方針に基づく取組の進捗状況について (2) リニア駅周辺整備の検討状況について</p>

※リニア中央新幹線の整備を上伊那地域及び飯伊地域の広域的な地域振興につなげ、伊那谷全体の発展に資することを目的とした会議

(会議の構成員)

知事	上伊那地域振興局長
飯田市長	南信州地域振興局長
伊那市長	伊那建設事務所長
駒ヶ根市長	飯田建設事務所長
南信州広域連合	企画振興部長
上伊那広域連合	
<オブザーバー>	
木曾広域連合	木曾地域振興局長

### 3 移住・定住

南信州地域への移住・定住の促進のため、管内市町村や南信州広域連合と連携して取組を進めています。

#### (1) 移住イベントの開催

相談会、セミナー、ツアー、オンラインツアーを開催しました。

イベント名称	開催日	参加者数
南信州つながりセミナー「ツナギビトと考えるゆるやかな移住」～つながりと暮らしの魅力～	令和4年6月4日	32名
外国出身移住者に聞いてみる、信州のはじっこで見つけた！しあわせ（オンライン併用）	令和4年7月24日	19名
オンラインツアー2022 ～職人と出会い、地域を知る旅～	令和4年7月17日	9名
都会×地方 ～ゆるやかな農住のススメ～（オンライン）	令和4年9月29日	16名
伊那谷をまるっと体感 長野・伊那谷移住相談会	令和4年11月19日	19名
南信州秘境の教室ツアー2023～秘境で創発！ 「〇〇とつながる学び」を探訪～	令和5年3月11日	12名

#### (2) 情報発信

SNS や YouTube により南信州地域のイベント情報や暮らしの様子を発信しています。

#### (3) 地元就職・Uターン就職の促進

地元企業で働く若者を紹介する動画制作（YouTube にて公開）

配信期間：令和5年3月13日～

動画本数：8本

再生回数：885回(令和5年5月17日時点)

内容：当地域出身の若者に仕事・プライベートともに楽しめる地域であることを認知してもらい、就職活動時の選択肢に当地域を入れてもらうため、当地域で働く若者へ取材を行い、「郷土で暮らし働く魅力」を紹介する5分程度の動画を8本制作しました。南信州地域振興局 YouTube チャンネル等で配信しています。

4 民俗芸能

南信州には、古来より伝承される神楽や盆踊り、人形芝居や農村歌舞伎、獅子舞などの民俗芸能や行事が各地に数多く点在し、「民俗芸能の宝庫」と呼ばれています。

これらの芸能の多くは、置かれている自然環境・風土・生活に根ざしながら人々の生活や信仰の中で固有の文化として生まれ、古より地域や人々の誇りとして脈々と受け継がれてきたものですが、近年では社会意識や生活環境の変化、少子高齢・人口減少社会の到来により、後継者の減少や不在が課題となっています。

(1) 南信州の主な民俗芸能

地域	民俗芸能	実施時期	国指定 重要無形 民俗文化財	国選択 無形民俗 文化財	県指定 無形民俗 文化財	県選択 無形民俗 文化財
飯田市	黒田人形・今田人形	4、10月 ほか		○		○
	遠山の霜月祭 (上村・南信濃)	12月	○	○		
高森町	大島山獅子舞	4月			○	○
阿南町	新野の雪祭り	1月	○	○		
	日吉の御鋤祭り	4月			○	
	深見の祇園祭り	7月				○
	新野の盆踊り	8月	○	○		
	和合の念仏踊り	8月	○	○		
	早稲田人形	8月		○		○
阿智村	清内路の手作り花火	10月			○	
天龍村	天龍村の霜月神楽 (坂部・向方・大河内)	1月	○	○ (坂部 向方)		
	大河内の鹿追い行事	4月		○		
泰阜村	南山の樽木踊り	8月		○	○	
大鹿村	大鹿歌舞伎	5、10月	○	○		
各地	伊那谷のコト八日行事	2月		○		
	下伊那のかけ踊り	8月		○		

【資料：長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課】

(2) 民俗芸能の継承支援

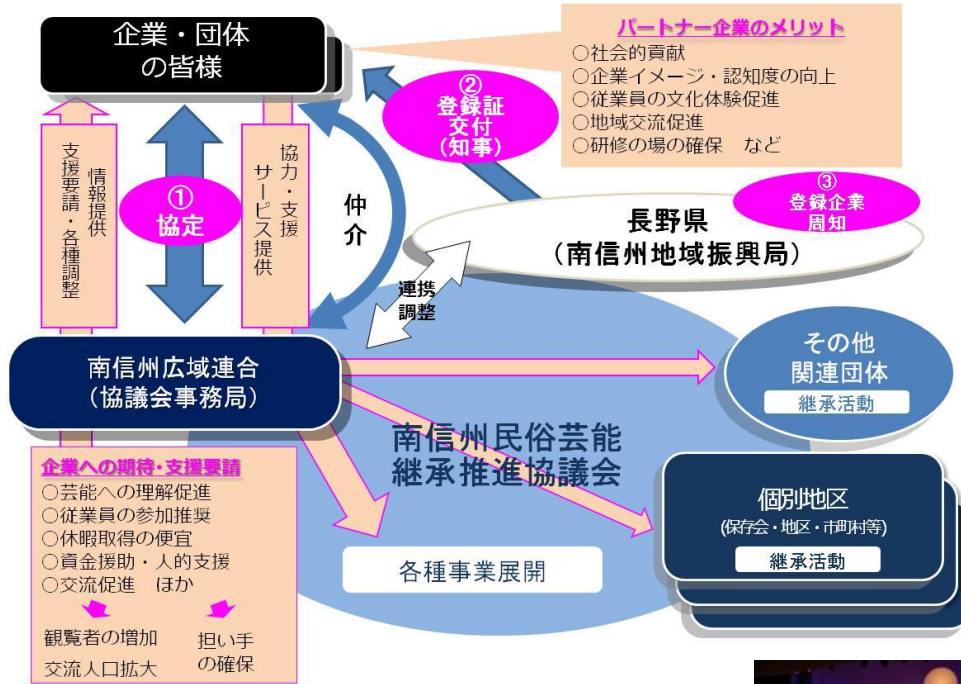
南信州地域の貴重な資産である伝統行事（芸能）を未来に継承するため、民俗芸能団体・行政・企業等のパートナーシップにより、地域が一丸となって取組を進めています。

ア 南信州民俗芸能パートナー企業制度の運用（登録団体数：100社（令和5年5月18日現在））

民俗芸能保存・継承団体の取組に協力し、支援いただける企業・団体を、県が「南信州民俗芸能パートナー企業」として登録。勉強会や意見交換会を実施。

イ 民俗芸能団体等とパートナー企業の支援マッチング

民俗芸能保存・継承団体が抱える課題や必要としている支援と各パートナー企業が可能な支援のマッチングを南信州広域連合と連携して実施。



「南信州民俗芸能パートナー企業制度」  
協定締結・登録証交付式



従業員によるボランティア活動



第1回南信州民俗芸能フェスティバル

ウ 南信州民俗芸能継承推進協議会の取組内容

- 啓発・繋がり創出イベント（南信州民俗芸能フェスティバル、未来の担い手づくりイベント、研究集会 等）
- 広報活動（HP（民俗芸能ナビ）や各種SNS（Facebook、Instagram、Twitter）の更新、ファンクラブ通信の発行、民俗芸能カレンダーの発行、啓発グッズの制作・配布 等）
- 南信州民俗芸能パートナー企業制度の運用（協賛事業の実施、協定締結式、表彰制度の導入、パートナー企業勉強会、民俗芸能行事に関する情報発信 等）
- 民俗芸能資産化事業 等



5 地域発元気づくり支援金

市町村や公共的団体が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対して「地域発 元気づくり支援金」を交付しています。

○令和4年度実績状況

1 事業区分別

(単位：千円)

事業区分	採 択		実 績	
	件数	採択額	件数	実績額
1 地域協働の推進	5	6,115	4	2,005
2 保健・医療・福祉の充実	0	0	0	0
3 教育、文化の振興	11	15,501	11	14,614
4 安全、安心な地域づくり	4	3,816	4	2,716
5 環境保全、景観形成	10	16,124	10	15,342
6 産業振興・雇用拡大（小計）	16	33,641	16	30,691
(1) 観光	7	19,574	7	18,244
(2) 農業	1	3,242	1	3,051
(3) 林業	3	5,556	3	5,490
(4) 商業	0	0	0	0
(5) その他	5	5,269	5	3,906
7 市町村合併に伴う地域の連携	0	0	0	0
8 その他地域の元気	7	9,352	6	7,115
合計	53	84,549	51	72,483

2 市町村別

(単位：千円)

市町村 区分	採 択				実 績			
	件数		採択額		件数		実績額	
	うち 市町村 事業		うち 市町村 事業		うち 市町村 事業		うち 市町村 事業	
飯田市	23	0	39,587	0	23	0	35,119	0
松川町	1	0	756	0	1	0	728	0
高森町	6	3	8,732	4,202	6	3	7,862	3,517
阿南町	0	0	0	0	0	0	0	0
阿智村	2	1	1,607	1,004	2	1	859	265
平谷村	1	0	547	0	1	0	505	505
根羽村	3	1	4,457	3,226	3	1	4,318	3,226
下條村	2	1	4,497	598	2	1	4,474	598
売木村	2	1	2,506	627	2	1	2,505	626
天龍村	5	3	5,532	4,334	5	3	4,762	3,629
泰阜村	1	1	924	924	1	1	811	811
喬木村	3	2	9,449	8,741	2	1	5,416	5,000
豊丘村	1	1	815	815	0	0	0	0
大鹿村	2	1	4,768	1,320	2	1	4,752	1,320
南信州広域連合	0	0	0	0	0	0	0	0
一部事務組合	1	0	372	0	1	0	372	0
合計	53	15	84,549	25,791	51	13	72,483	19,497

※ 1、2次合計

予算配分額	97,010 千円
予算残額	24,527 千円

○令和5年度採択状況

1 事業区分別

(単位：千円)

事業区分	申 請			採 択	
	件数	事業費	要望額	件数	採択額
1 地域協働の推進	2	9,005	6,171	1	3,499
2 保健・医療・福祉の充実	1	458	343	0	0
3 教育、文化の振興	11	24,946	19,550	7	12,303
4 安全、安心な地域づくり	2	10,133	5,550	1	1,117
5 環境保全、景観形成	4	12,561	9,407	3	6,291
6 産業振興・雇用拡大(小計)	10	37,585	24,074	9	19,074
(1)観光	4	8,415	6,550	4	6,550
(2)農業	1	1,694	848	1	848
(3)林業	2	11,624	7,328	2	7,328
(4)商業	1	3,242	2,446	1	2,446
(5)その他	2	12,610	6,902	1	1,902
7 市町村合併に伴う地域の連携	0	0	0	0	0
8 その他地域の元気	7	19,324	14,876	7	14,876
合 計	37	114,012	79,971	28	57,160

2 市町村別

(単位：千円)

市町村等 区分	申 請						採 択			
	件数		事業費		要望額		件数		採択額	
		うち 市町村 事業		うち 市町村 事業		うち 市町村 事業		うち 市町村 事業		うち 市町村 事業
飯田市	17	1	55,748	9,445	39,930	5,000	16	1	32,921	1,117
松川町	1	0	458	0	343	0	0	0	0	0
高森町	2	0	3,726	0	2,917	0	0	0	0	0
阿南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
阿智村	8	1	26,725	3,105	17,957	2,328	5	1	7,768	2,328
平谷村	1	0	995	0	788	0	1	0	788	0
根羽村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下條村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売木村	2	2	2,310	2,310	1,847	1,847	2	2	1,847	1,847
天龍村	1	0	688	0	550	0	0	0	0	0
泰阜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喬木村	3	3	18,239	18,239	11,702	11,702	3	3	11,702	11,702
豊丘村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大鹿村	1	0	2,393	0	1,803	0	0	0	0	0
南信州広域連合	1	1	2,729	2,729	2,134	2,134	1	1	2,134	2,134
一部事務組合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	37	8	114,011	35,828	79,971	23,011	28	8	57,160	19,128

※1次のみ

予算配分額	92,380千円
予算残額	35,220千円



6 地域振興推進費

しあわせ信州創造プラン3.0「南信州地域計画」の推進や、南信州地域の「横断的な課題」の解決に向けて、他の現地機関と連携調整を図りながら、地域振興推進費を活用して様々な事業を実施しています。

○令和5年度 地域振興推進費活用事業計画

(単位:千円)

事業名	事業概要	事業費 (計画)
<b>高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備</b>		
伊那谷キャリア教育推進事業	キャリア教育研修会など伊那谷で継続した取組の実施と推進体制の構築	850
南信州とのつながり創出事業	つながり人口の現状把握と学習会やつながり創出事業等の開催	69
三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー事業	三地域の交流促進を目的に、連携して行うマラソン大会スタンプラリーの開催	820
日本一コンテンツ普及・開発プロジェクト事業	日本一コンテンツを外部へ発信する成果発表会の開催	376
伊那谷の強みを活かした重点的な取組ほか	リニアバレー構想の実現を目指した実行にかかる事業実施	2,000
<b>伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり</b>		
民俗芸能パートナー企業制度を活用した民俗芸能保存・継承事業	南信州民俗芸能パートナー企業制度を活用した支援促進に向け勉強会の開催とテーマを絞りモデル的に支援の実施	320
プラスチックスマート推進記念事業	レジ袋削減運動が始まり15年を迎えることを記念し、公演会や表彰等を実施する	942
<b>地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興</b>		
伊那谷ビュースポット発掘・発信事業	伊那谷ビュースポットの写真撮影(春・夏)委託及び新たなビュースポット候補の選定・整備・情報発信	600
竹取再生事業	竹を土木資材として新たに製品開発するための試験試行の実施	1,250
南信州シールド振興事業	南信州シールドのブランド化に向けた、勉強会の開催	38
里山を活かした観光推進	里山観光に関わる先進地視察及び勉強会による検討の実施	500
JR東海と連携した南信州のPR	南信州のPRのためJR東海と連携し、イベント等を実施	500
日本なし産地再生プロジェクトによる日本なし産地の再生事業	日本なしを活用した地域の新たな商品化を図り、魅力を消費者へ情報発信するため、キャンペーンを実施	237
<b>安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり</b>		
南信州メディカルバレー(仮称)構想元年事業	研究成果について、関係者や地域内外の住民に報告するためのシンポジウムを開催	1,324
合計	14件	9,826

予算額 10,160

残額 334

○令和4年度 地域振興推進費活用事業実績

(単位:千円)

事業名	事業概要	事業費 (計画)
<b>リニア及び三遠南信自動車道の開通を見据えた取組の推進</b>		
伊那谷ビュースポット発掘・発信事業	伊那谷の隠れたビュースポットを掘起し、情報発信するため、フォトコンテストを実施した。	1,451
「竹取再生」促進事業	住民等の自主的な竹林整備と竹資源の利活用を促すため、高温乾燥処理を行い土木用材資源として活用を検討するための取組を実施。	319
南信州シードル振興事業	関係者を交え、「南信州シードル」をブランド化するための意見交換会を実施。	19
南信州産木材のブランド化推進事業	計画的な主伐と確実な再生林による木材のブランド化に向けた取組を実施。	1,143
「風流踊」ユネスコ登録記念事業	「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを周知するため、懸垂幕やパネルの展示、南信州民俗芸能フェスティバルの映像配信を行った。	537
日本なしを使用した菓子等商品化プロジェクト	製菓業者等とタイアップをし、日本なしを活用した地域の新たな商品化を図り、消費者に魅力を情報発信するための取組を実施。	289
農業の多様な担い手確保推進事業	農業の担い手を確保し、地域農業振興を図るため、新規就農者を対象とした講習会を開催した。	84
<b>リニア新時代に向けた南信州広域観光の推進</b>		
三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー事業	三遠南信自動車道の全線開通を見据え、長野、愛知、静岡の交流人口の拡大を図るため、マラソン大会でスタンプラリーを実施した。	527
南信州観光素材情報発信事業	南信州地域の魅力的な観光素材をPRするため、JR東海の「飯田線秘境駅号」及び「さわやかウォーキング」とタイアップし、地場製品のノベルティ配布や情報発信を行った。	359
<b>リニア新時代に向けた南信州への移住・定住の促進、人材の確保</b>		
南信州郷就促進動画制作事業	南信州地域出身の若者に「郷土(南信州地域)で暮らし働く魅力」を知ってもらうため、YouTube動画を製作し、配信した。	960
南信州暮らし応援隊による移住・定住促進事業	当地域への移住者を増やすため、東京での情報発信イベントと移住相談会へ参加した。	30
外国出身移住者目線による南信州魅力発信事業	田舎暮らしやライフスタイルに興味のある人々へ向け、海外からの移住者による魅力発信のイベントを行った。	272
つながり人口研修会開催事業	地方公共団体・地域関係者につながり人口の考え方や必要性に対する理解を促し、今後の事業の参考とするため、研修会を開催した	134
地域維持に向けた特定地域づくり事業協同組合制度導入への支援	高齢化や人口減少の課題に向き合う小規模町村で、特定地域づくり事業協同組合制度により村内外から新たな担い手を確保するため、奥会津地域づくり事業協同組合の先進事例を調査した。	83
<b>リニア中央新幹線の開業を見据えた地域づくり</b>		
リニア3地域(上伊那・南信州・木曾)の広域観光推進事業	リニアバレー構想に基づく周遊滞在型観光コンテンツの作成や受入れ環境整備のため、3地域の観光関係者及び有識者を招請し、検討会を実施した。	961
<b>「環境先進地南信州」らしいゼロカーボン等の取組の推進</b>		
ゼロカーボンミーティングの開催	ゼロカーボン実現に向け、地域が一体となって環境先進地域づくりを目指すため、環境メッセ、ゼロカーボンミーティングを開催。	1,000
プラスチックスマート運動の推進	プラスチックスマート運動の啓発活動として、市町村に啓発物品の配布やパネルを設置した。	400
合 計	17件	8,568

予算額 10,343

残 額 1,775

